

仏教

浄土真宗本願寺派
発行日 / 2019(平成31)年4月1日(月)

こども新聞

No.820

2019年
4月号



- 今月のことば
- まんが それ聞け! アナンくん
- おもちゃ箱
- おーい! ガマブツ先生
- お家の方へ

新連載!

今月のことば

声こえになつて

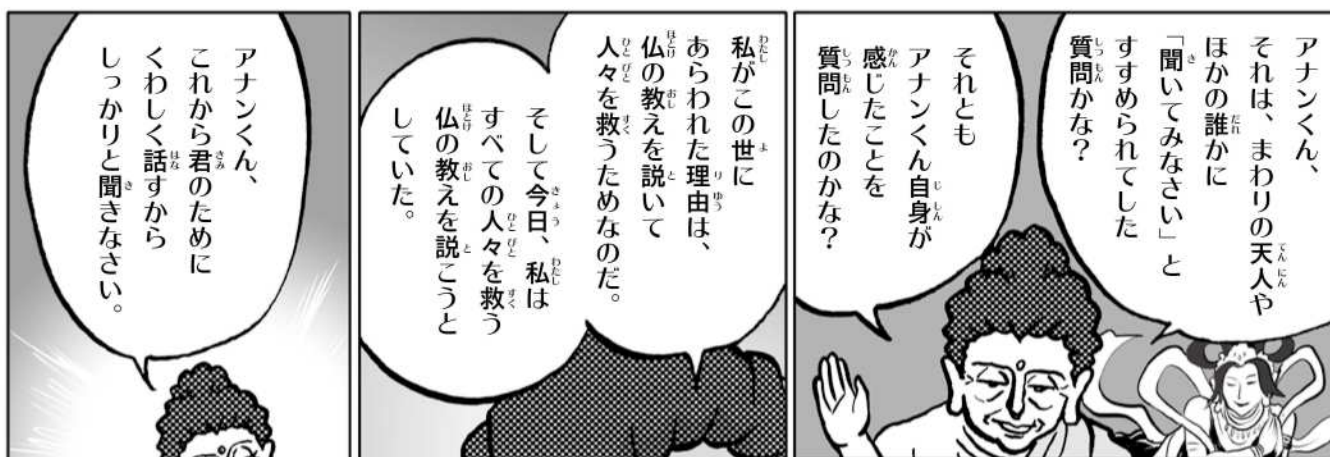
アミダさまはいらっしゃる

なむ
あみだ
おつ

それ聞け！ アナンくん

第49話 仏説無量寿経 ①

ぶつ せつ むりょうじゆ きやう

 すがた
かがやくおシャカさまのお姿


まんが：ありたにけんゆう

 少年連盟ホームページ <http://shonen.hongwanji.or>



＊今月のことば＊

声こえになつて

アミダさまはいらっしゃる

ナモアミダブツは声こえの仏ぼつさまです。□くわでとなえると同時どうじに、耳みみで聞く仏ぼつさまです。

みんながイメージする仏ぼつさまは木像もくざうや絵像えざうの仏ぼつさまではないでしょうか。目めに見える仏ぼつさまは、とてもきれいですよね。けれども、お寺てらやお仏壇ぶつだんなど直接さくせき見える場所ばしょは限かぎられていますよね。

アミダさまという仏ぼつさまは、どうしたら私わたくしたちといつでもどこでも一緒いっしょにいられるかを長い長い時間じかんをかけて考えられました。そして、声こえの仏ぼつさまになることを選えらびました。あなたがナモアミダブツと声こえに出だせば、そこにアミダさまはいらっしゃって、あなたを抱だきとってくださいています。だから、いつでもどこでもとなえてよいのです。お風呂ふうろの中でも、トイレの中なかでも、お布団ふとんの中なかでも、ナモアミダブツとなえたとき、アミダさまはあなたとご一緒いっしょにいらっしゃいます。

（まえた すみよ）



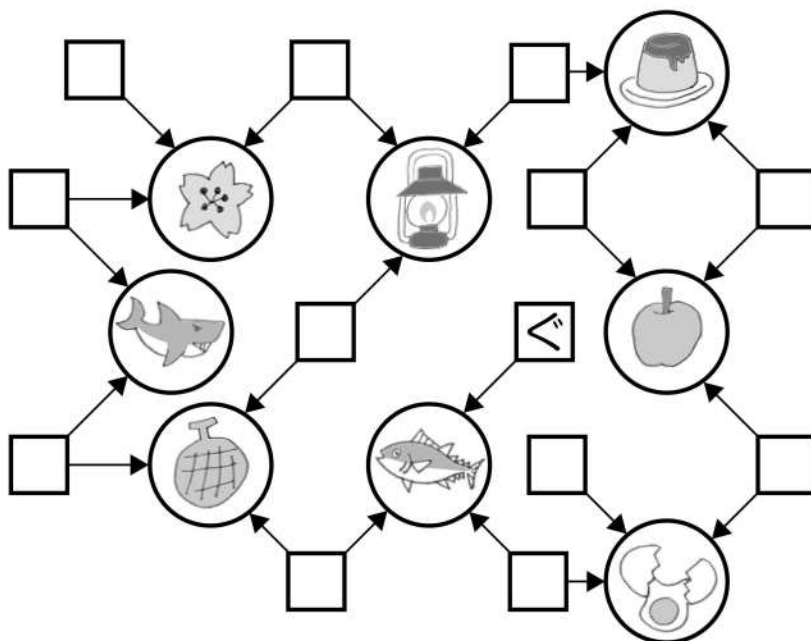
おもちゃ箱



こんげつ
今月
の
もんだい

□なかの中にひらがなを1文字ずつ入れます。○なかの中のイラストは、そこに矢印やじりしが向いている□なまえに入る文字しめを合わせると、そのイラストの名前なまえになることを示しています。イラストをヒントに、すべての□なかに文字しめを入れてください。

（しゅつだい・はやしでら けん）



がつごう
3月号クイズのこたえ

もんだい1（下）…木へんの字
もんだい2（上）…左右対称
（カガミにうつしても読める）

おーいー! ガマブツ先生

今月の仏教語

不思議 (ふしぎ)
(ふかしく、不可思議ともいいます。)

意味: 仏さまのさとりや智慧のこと。
ひとから、ちから、ちしき

人の力や知識をこえたもの。

作: たにもと みゆき

ちなみに
アミダさまのことを、
南無不可思議光仏
とも言いますよ。



伝言板



アミダさまは本当の親

昭和63年に出版された、法話集にあった話です。
二人の子どもを残して、亡くなった若いお父さん
がいました。お父さんは死ぬ前に、子どもたち
の手をしっかりと握りしめて言いました。

「お父さんが死んでも悲しむことはない。この
お父さんは仮の親である。あんたたちのほんとう
の親は仏さまである。仏さまは死なれることがな
い。このお父さんも、あんたたちも、いつまでも
いっしょにまもられておるのである」

そしてお仏壇に向かい、お念仏を称えながら亡
くなったというのです。

親というのは、この世で誰よりも子どもを愛し、
守る存在です。だから子どもにとって、親は心の
依り処です。けれどもこの世の親子は、やがて必
ず別れていかねばなりません。そこに、この世の
親の限界があり、親子の悲しみがあります。

しかし、そのような悲しみがあればこそ、アミ
ダさまは立ち上がってくださったのでした。「私
があなたの本当の親になるから、私を心の支えと
して生きておくれ」と、親の名告り上げてくだ
さったのでした。

私たちは皆、親も子も、ともにアミダさまの子
どもです。

(参考)「山本佛骨法話集 第一巻」法蔵館

(きたしま ぶんゆづ)

おたよりのご応募、新聞へのご意見や感想、ご購入のお申し込みは下記連絡先までお願いします。

〒600-8501(住所不要) 浄土真宗本願寺派宗務所内
☎075-371-5181(代) E-mail:soshiki@hongwanji.or.jp

仏教こども新聞社

